

令和5年度 放送大学山形学習センター市民講座

世界遺産ナスカの地上絵研究

人工衛星画像・ドローン・人工知能

世界遺産ナスカの地上絵は、あまりにも広大な範囲に分布しているため、20世紀初頭の発見以来、十分に調査されてきませんでした。そこで、地上絵がいつ、誰によって、どのような方法で、何のために作られたのかについて、根拠のない仮説が唱えられ、それが広く流布してきました。しかし、21世紀に入り、日本調査団が人工衛星、ドローン、人工知能（AI）といった新技術を駆使した現地調査を実施した結果、地上絵に関する理解は格段に進みました。この講演では、まず、日本調査団が過去20年間にわたって実施してきた研究の歩みをふりかえるとともに、地上絵の謎がどこまで解明されたのかについて説明します。

そして、最後に今後の課題についてお話しします。

日時:令和 6 年 2 月 4 日 (日) 14:00~15:30

定員:100名 (無料) 会場:生涯学習センター「遊学館」

【山形市緑町1丁目2-36 ☎023-625-6411】

講師 : 山形大学
学術研究院教授

坂井 正人 氏

「ナスカの地上絵」研究の世界的権威。現地政府の許可のもと、世界でただ一つの現地調査を行っている研究グループの統括者です。



□主催 放送大学山形学習センター

□後援 山形県生涯学習文化財団

<お申込み> 令和 6 年 1 月 26 日(金)まで

<申込先> 放送大学山形学習センター (霞城セントラルビル10階)

TEL:023-646-8836/E-mail:ymg-sc@ouj.ac.jp

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学べる — 放送大学は通信制の大学です —
放送大学 2024 年 1 学期 4 月 **入学生募集**

出願期間 (2023 年 11 月 26 日~2024 年 3 月 12 日)